

平成17年10月7日

各 位

会 社 名 常磐興産株式会社
代 表 者 名 取締役社長 斎藤 一彦
(コード番号 9675 東証1部)
問 合 せ 先 取締役管理本部長 秋田 龍生
T E L 03-3663-3411

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成17年5月20日の決算発表時に公表いたしました平成18年3月期の間接期の業績予想を、下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成18年3月期中間業績予想値の修正(平成17年4月1日から平成17年9月30日)

(個別)

[単位:百万円]

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	16,240	930	△ 185
今回修正予想 (B)	14,184	1,000	△ 30
増 減 額 (B)―(A)	△ 2,056	70	155
増 減 率 (%)	△ 12.7	7.5	―
(ご参考) 前期(平成16年9月期)実績	15,884	1,171	1,100

(連結)

[単位:百万円]

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	23,400	720	△ 80
今回修正予想 (B)	22,130	920	170
増 減 額 (B)―(A)	△ 1,270	200	250
増 減 率 (%)	△ 5.4	27.8	―
(ご参考) 前期(平成16年9月期)実績	23,700	1,335	514

2. 中間期業績予想数値の修正理由

(個別業績予想について)

売上高については、燃料商事事業部の石炭部門において、主力納入先である電力向け石炭の納入減の影響で、前回予想を下回る見込みとなりました。

一方、経常利益に関しては、収益力の柱であるレジャーリゾート事業部が好調であったこと等により前回予想を上回り、当期純利益におきましても、関係会社への貸倒引当金戻入益を特別利益として計上するとともに、上期に見込んでいた特別損失のシステム関連費用が下期にずれ込んだことにより、前回予想を上回る見通しとなりました。

(連結業績予想について)

売上高については、上記の個別業績予想の影響で、前回予想を下回る見込みとなりましたものの、経常利益、当期純利益については、当社並びに各連結子会社の業績が概ね計画を上回り推移致しました結果、前回予想を上回る見込みとなりました。

なお、通期(連結・単体)の業績予想につきましては、現在算定中でございますので、確定次第お知らせ致します。

(注)本資料に記載しております業績予想等につきましては、現時点で得られました情報に基づき算定しております。

実際の業績は今後さまざまな要因により本資料の見通しとは異なる結果となる可能性があります。

以 上